

理研シンポジウム 細胞内糖修飾の統合的ケミカルバイオロジー

開催日時：2019年1月25日（金） 13:00-17:40

場 所：国立研究開発法人理化学研究所 大河内記念ホール

主 催：国立研究開発法人理化学研究所（伊藤細胞制御化学研究室）

協 賛：日本化学会、日本農芸化学会、日本薬学会、有機合成化学協会

Integrated Chemical Biology of Intracellular Glycan Modifications

Friday Jan. 25, 2019 13:00-17:40

Okochi Hall, RIKEN

Contact: Synthetic Cellular Chemistry Lab. (Tel. 048-467-9430)

小胞体は、様々な脂質やタンパク質の生合成が行われる場であると共に、タンパク質のフォールディングや品質管理機構において中心的な役割を果たしている。これらの過程を理解することは生命科学における重要な課題であるが、そのためには統合的なアプローチが必要である。本シンポジウムでは特に小胞体におけるタンパク質や脂質の糖修飾に焦点を当て、糖鎖生物学、合成化学、分析化学およびケミカルバイオロジーを基盤とする研究において、この分野を先導する講師に最先端の研究成果を披露していただき、議論の場を提供する。

13:00 開会の挨拶 伊藤幸成（理研 CPR）

13:10-13:45

NGLY1 欠損症は小胞体関連分解（ERAD）の破綻によるものか？

鈴木匡（理研 CPR）

13:50-14:25

N型糖鎖のマンノーストリミングを基軸とした小胞体関連分解の解析

蛭川暁（京都大学大学院理学研究科）

14:30-15:05

Functional analyses of cell signaling mediated by lysophosphatidylglucoside

Adam T. Guy（理研 CBS）

休憩（15:05-15:40）

15:40-16:15

超高感度キャピラリー電気泳動を用いた微量糖鎖プロファイリング法

川井隆之（理研 BDR）

16:20-16:55

細胞内エンドグリコシダーゼ活性検出に向けた化学的アプローチ

松尾一郎（群馬大学大学院理工学府）

17:00-17:35

C-マンノシル-トリプトファンの生体分布と疾患変動

井原義人（和歌山県立医大医学部）

17:40 閉会の挨拶 伊藤幸成（理研 CPR）

18:00 意見交換会（広沢クラブ）

[問い合わせ先]

〒351-0198 埼玉県和光市広沢 2-1 理化学研究所 伊藤細胞制御化学研究室

Tel.: 048-467-9430; Fax.: 048-462-4680; e-mail: yukito@riken.jp

[参加申し込み]

申込不要。直接お越し下さい。なおシンポジウム終了後、意見交換会（一般 3,000 円、学生 2,000 円）を開催します。
